

介護研修

連日の猛暑が続く中、感染対策を徹底して施設内で「介護研修」を行いました。

こすもすの里では、「知的障がい者の高齢化」の課題と向き合うために2年前より「高齢化対策委員会」を立ち上げました。それ以前も、ケース会議や専門委員会で様々な課題に取り組んできましたが、「もっとと各ブロックの垣根を超えて、利用者一人一人の様々な個別的な課題と向き合って解決できるようにしたい！」という職員一人一人の思いから、この委員会を立ち上げました。

当日は、施設とも関連の深い大学の先生を迎えて、午前中は「居室内での車いすからの移乗や安楽な体位」や「浴室での安全な介助方法」「食事介助」を利用者一人一人にあった「安全で安心できる介護方法」の学び直しを行いました。午後からは、基本的な介護技術の講座と共に、現場での日々の疑問や不安を質疑応答形式で先生に聞いて頂きました。

この研修では、知的障がい者の方々にとっては、一般的な介護技術だけではなく、「高齢になっても知的障がいへ配慮した介護が必要」ということが再確認できました。

また、利用者さんにとっても職員にとっても、安全で安心な介護技術を「個別ケースに沿って確立していくことの重要性」を学ぶことができました。「知的障がい者の高齢期は40歳代後半から」という認識は、まだまだ一般社会では、馴染みのない言葉ですが「利用者さんと共に暮らす事」が支援の中心である生活施設では、避ける事のできない問題です。

これからも「学びを共有できる職場づくり」を目指して、より多くの利用者さんやその保護者のみなさんの笑顔に結びつけることができるよう支援に取り組んでいきます。

総主任 小森 正紀



こすもす食堂日記



豆花 (トウファ)

秋の行楽弁当やスイーツづくりもしました♪



季節の天井～旬の舞茸～

にっこり展



頑張って作った作品が展示されてハッピー☆

職員紹介

今年の8月から入りました！太田です！専門学校で得た知識と、実習で得た経験で元気いっぱいの笑顔で頑張ります！
宜しくお願いします！

女性支援員：太田 萌

フラサークル

ラララ!フラガール!



3年前ひびきあいまつりの舞台上で踊ったこの曲。サビのステップも最後の決めポーズもバッチリ！みんな、覚えていてくれたんですね。女性は色鮮やかなパウスカートを、男性はセクシーなタヒチアンのマロを着けて。フラは姿勢が良くなり、下半身も鍛えられます。4、5曲目頃には、全員の額に汗が。海風感じる素敵な音楽に、心も癒されてリフレッシュ！

調理 川瀬 直美

日常の様子

こつこつ展



体操タイム



作品作り

お昼寝タイム



お水やり



福祉のひろば

大阪福祉事業財団では、月刊誌「福祉のひろば」を発行しております。

定価500円+税

(2冊以上購入で送料無料)

担当 小林・曾我部



後援会会員募集中

大阪福祉事業財団には、救護施設保育園、児童養護施設介護老人福祉施設、養護老人ホーム、乳児院、障害児者の生活施設や通所施設など22施設がございます。私どもの法人の応援団になって頂ける会員の方々を募集しております。

「年会費1口3,000円」「郵便振り込み番号：0090-3-14013」詳しくは、財団後援会事務局 TEL06-6931-2983 までお電話ください。